



# 図書館だより7月号

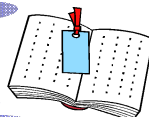


令和元年7月4日発行 川島中学校・高等学校図書館

夏に読みたい!

読書感想文におすすめ!

おすすめ図書を紹介



新しい本がたくさん入りました!みなさんのリクエストの他に、読書感想文におすすめの本や、学習に役立つ本もそろっています。手に取って見てくださいね。

## ・レシピにたくした料理人の夢 難病で火を使えない少年

百瀬しのぶ/文 KADOKAWA

だんだん体が動かなくなる難病「せきすい脊髄小脳変性症」の母にかわって、6歳から料理を始めた昇兵は、料理人になるのが夢でした。しかし、自分も母と同じ病気にかかっていることがわかり火を使えなくなります。一度は夢をあきらめかけた昇兵ですが、「火を使わないレシピ」を考え、再び前を向いて進んでいきます。本当にあったお話です。

## ・地球一やさしい宇宙の話 巨大ブラックホールの謎に挑む! 吉田直紀/著 小学館

一番最初に生まれた星や、巨大ブラックホールの謎などを解明してきた宇宙物理学者が宇宙の誕生物語をやさしく解説します。文系の人にもオススメ!

## ・ゆうたくんちのいばりいぬ 1~3 きたやまようこ/著 あかね書房

顔はこわいけど、かわいいハスキー犬じんぺいと、ちいさなゆうたの物語。いばりいぬじんぺいが語る絵本は、30年たった今でも人気です。先生も子どもの頃に読んでいたかも!?とっても癒されます。 ←オススメ!

## ・オードリー・ヘプバーン 彼女の素顔がここに

マーティン・ギトリン/著 クレヴィス

戦時下に生まれ、両親の離婚など、はつこう薄幸の少女時代を過ごしたオードリー。二度の離婚を経験し、晩年はユニセフの親善大使として、活躍しました。1年生のリクエストです。今でも人気のオードリー・ヘプバーンの生涯、写真もたくさん掲載されています。

## ・ぼくたちは幽霊じゃない ファブリツィオ・ガッティ/作 岩波書店

政情不安な故郷アルバニアからイタリアへ、命がけで家族と逃れてきたヴィキ。しかし、待っていたのは、どろろ泥地のバラック生活…。それが不法移民の現実でした。どんな困難にも負けず、学校に通って新しい人生を切り開こうとする少年と家族の物語です。

## ・さよなら僕の夏 レイ・ブラッドベリ/著 晶文社

永遠の名作「たんぼぼのお酒」から1年後の夏が舞台です。14歳になった少年の夏の物語。「たんぼぼのお酒」も、ぜひ、読んでみてください!

## ・ぼくらの宝探し 宗田理/作 KADOKAWA

ぼくらシリーズ最新作が届きました!今回は、暗号を解いて1億円を超える国宝級の宝を探す冒険です。シリーズ第1作「ぼくらの七日間戦争」は、今年、アニメ映画で公開されます。まだ、読んだことがない人は、まず第1作を読んでみよう!

## ・生きづらさを抱えるきみへ withnews編集部/編 KKベストセラーズ

学校や普段の生活に、生きづらさを感じている人のための本。テレビで活躍している人たちが、どうやって「逃げ道」を見つけてきたか、周囲の人の助けを得たか、この本には自分一人では見つけられなかったヒントがあります。

## ・こころの疲れに効く名言集 こころに効く名言研究会/編 笠倉出版社

毎日ハッピーでいられる言葉、勇気が出る言葉、人間関係に疲れてしまったときの言葉など、さまざまなシーンで参考にしたい名言集です。

“自分自身を信じてみるだけでいい。きっと、生きる道が見えてくる。ゲーテ”

**7月・8月図書館開館日のお知らせ**

今年も貸出冊数無制限!好きなだけ借りられます!!

7月22~26, 29~31日  
8月1, 2, 5~7, 16, 19~21, 26, 27日

開館時間: 午前8時35分~午後5時